

# 坂の上通信

平成二九年十二月四日  
広島市立美鈴が丘高等学校  
新聞文芸部(四〇三演習室)

## 地域清掃 各部が協力

### 日曜日 169名が参加



多くの部活動が協力して、地域の環境美化に取り組んだ

11月19日(日)に「さわやかハイスクール地域清掃」が行われた。この地域清掃は、美化委員会を中心に各部の部員や生徒会役員が高井地区と美鈴が丘地区を清掃するボランティア活動だ。日頃お世話になっている地域に感謝と恩返しを持ちこめて、多数の部が参加した。

直前の水曜日には被服教室で説明会が行われ、各部の部長たちが担当区域や注意事項を確認した。またその日の放課後には、当日の清掃がスムーズに進行するよう、生徒会役員が軍手やビニール袋、土嚢袋を人数分に分けたり、用具の準備が行われた。

当日の天気は曇り。気温も低く、マフラーなどの防寒具を着用している人も多く見受けられた。

坂は見違えるほどきれいになった。通学の際に落ち葉で滑ることも減り、生徒にとって安心して通える環境が整ったと言えるだろう。

ばんばんにふくらんだ土嚢袋は、高井地区だけでも百袋以上におよんだ。

時折雨粒が落ちてくるなか、清掃は始まった。前日までの雨のせいで水分を吸った落ち葉は重く、どの部も四苦八苦していた。

順調に進んでいたのもつかの間、各所で、主に女子の悲鳴が上がった。落ち葉の中にいた様々な虫がその理由だ。ひととき大きな悲鳴をあげさせたのは、鉛筆ほどの太さに成長したミミズだった。

## 学校の「顔」にインタビュー



今回は、地歴公民科の永福先生にお話を伺った。

「世界史の先生を目指したきっかけは、暗記が得意だったこととありますが、やはり社会科が好きだったからですね。」

「高校生の時の、一番の思い出は、文化祭ですね。クラスでアイス揚げを作ったのですが、ずっと一人で揚げ続けていて、腕を疲労骨折してしまいましたよ。」

「美高生に一言お願いします。」

「何事も一生懸命に取り組んでください。」

| 名称      | 学んだことなど                |
|---------|------------------------|
| 生徒会     | 生徒会の仲や絆が深まった           |
| 有志      | ボランティア活動の大切さや意義        |
| サッカー    | 協力することで目標以上のことができる     |
| 陸上      | 全員で一つのことに取り組むことの大切さ    |
| バスケット男子 | 達成感や協調性、地域の方への感謝       |
| バスケット女子 | 協力の大切さ                 |
| 水泳      | 清掃の大切さ                 |
| 新聞文芸    | 誰かの努力で「当たり前」ができていていること |
| 華道      | 皆で協力して活動することの大切さ       |
| 吹奏楽     | 協力することで早く作業ができること      |
| 書道      | 今自分が何をすべきかを考える力        |
| あすなる会   | 協力することで作業の幅が広がること      |

各部が語る「今回の活動を通して学んだこと」

## 美高 創立30周年 記念式典が開催



大勢の来賓を迎えた、30周年記念式典

11月22日(水)に講堂で創立30周年記念式典が行われた。この日の授業は3限までで終わり、午後から全校生徒をはじめ来賓の方、地域の方も出席され、美高の節目の年を祝った。

開式の辞のあと国歌斉唱、引き続き美高物語者に対して黙祷が捧げられた。そのあとは学校長式辞、教育長挨拶、PTA会長挨拶、来賓祝辞、祝電祝詞披露と続き、生徒代表として生徒会長の日高優美さんもお祝いの言葉を述べた。日高さんは美高の歴史や古今の美高生にふれながら、次のような内容を述べた。「昭和61年、広島市に新しく市立高校を設立することが決定され、二年後の昭和63年、美鈴が丘高校が開校した。開校当初は、1学年10学級、クラスの人数も45人で、現在に比べて非常に多くの生徒が在籍していたそうだった。だが、今も昔も変わらず美高生が何事にも一生懸命であるという姿勢は変わらない。この姿勢こそが美高生の気風であり、今後も受け継いでいく精神だ。」

記念式典の後には、音楽座ミュージカルを鑑賞した。生徒を巻きこむ見事なパフォーマンスで「星の王子様」の1シーンなどが演じられた。

全校生徒も体を動かして踊ったり歌ったりし、最後には講堂全体で大きなウェーブをつくりあげた。普段はできない体験で、非常に楽しい時間となった。

## 机の上の美術館

今回は、国語科の林先生の机の上取材し、南部鉄のカメは、教員になってすぐの頃に親からプレゼントされたものだ。南部鉄とは、岩手県盛岡市で作られている伝統工芸品である。

「このカメを見ると、『ゆっくりやろう』と励ましてくれているように思える」と林先生

写真は、文鎮と南部鉄のカメである。どちらももとお土産としてもらったもので、左に写っている文鎮は台湾のもの、右上の文鎮は北海道のものだそう。書類をなくさないように、この文鎮を使って気を付けているという。



きれいな柄の文鎮

は語り、長い付き合いのこのカメをとっても気に入っている様子だった。

## 編集後記

美高は、ボランティア活動に積極的な学校だ。記者にも「見えない努力」を実感する良い経験となった。

## 美・鈴・鈴・鈴

「ボランティア」の語源をご存知だろうか。一説によると、自由意志を意味するラテン語の「ボランタス」から生まれたと言われている。▼現在使われる英語のボランティアは、名詞では「志願兵」、動詞では「自発的に申し出る」という意味で使用されている。17世紀中頃の不安定なイギリスで、人々が生活を守る為につくった自警団もボランティアと呼ばれていたそう。▼日本でもボランティアが大きく広まったきっかけは、95年の阪神淡路大震災だ。震災被害に遭った人のために全国から百万人以上の人がボランティア活動に駆けつけた。多くはボランティア活動未経験者で、そのため95年はボランティア元年とも呼ばれるそう。▼ボランティアは、自主性・社会性・無償性・創造性の四原則に基づくとされている。先日行われた地域清掃ボランティアを通して、これらの原則を再確認した人も多いのではないだろうか。(廣岡琴美)